



2021年2月12日

各位

会社名 株式会社早稲田アカデミー
 代表者名 代表取締役社長 山本 豊
 (コード番号 4718 東証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 河野 陽子
 管理本部長
 TEL 03-3590-4011

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年12月10日に公表しました2021年3月期通期業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 25,186	百万円 581	百万円 582	百万円 238	円 銭 15.06
今回発表予想(B)	25,324	754	762	374	23.65
増減額(B-A)	138	172	180	136	—
増減率(%)	0.5	29.6	30.9	57.0	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	24,611	1,169	1,162	772	48.76

(2) 2021年3月期通期個別業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,719	百万円 519	百万円 725	百万円 473	円 銭 29.84
今回発表予想(B)	23,855	684	898	592	37.39
増減額(B-A)	136	164	172	119	—
増減率(%)	0.6	31.7	23.8	25.3	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	23,183	1,075	1,094	769	48.58

2. 業績予想修正の理由

当社におきましては、コロナ禍においても途切れることのない“学び”をご提供したいとの強い思いで、昨年6月の緊急事態宣言解除後に開始した「対面授業」と「双方向Web授業」とを選択受講できるデュアル形式の授業サービス（「早稲アカ DUAL」と称します。）を継続し、オンデマンド授業映像や、各種テストの自宅受験をサポートするアプリの開発・運用等、ICTを利活用したサービスの提供にも注力してまいりました。このような取り組みが生徒・保護者の皆様からのご支持につながり、売上高の基礎となる塾生数が当初予想を上回るペースで回復を続けてきたことから、12月以降の塾生数予測を踏まえて業績動向を検証し、2020年12月10日付で通期業績予想の修正を公表いたしました。その後1月に入り、当社が校舎展開する首都圏において、再度の緊急事態宣言が発出された後も、新規問合せや入塾手続き数増加の好調な流れは途切れることなく、特に、1月下旬以降は更にその勢いが加速しているところです。

このような状況を踏まえ、連結売上高につきましては、前回予想を更に138百万円(0.5%)上回る25,324百万円となる見通しとなりました。

費用面では、集客と合格実績両面で業績が大きく伸長したことにより、従業員対象のインセンティブ増加に伴う賞与引当金の積み増しが見込まれるものの、労務費全体としては概ね前回予想の水準に落ち着くものと見込んでおります。また、第4四半期において、学習環境の向上を目的に、既存校舎の移転を設備投資計画に追加したことによる減価償却費等の関連費用の増加等、新たな費用負担が発生いたしますが、支払手数料・水道光熱費・事務消耗品費等が想定を下回る見込みとなり、売上原価、販売管理費ともに前回予想を下回る見通しとなりました。

以上の結果、営業利益・経常利益・当期純利益につきましても、上記記載のとおり、前回予想を上回る見通しとなりました。

通期の個別業績予想につきましても、上記と同様の理由により修正いたしております。

尚、今回発表の業績予想につきましては、現在行っている授業サービスを今後も継続的に提供できることを前提とし、新型コロナウイルス感染症が当社グループ業績に与える影響は、概ね当連結会計年度末までに収束するとの見通しのもとに策定しております。

(注) 上記予想数値は、本資料の発表日現在において当社グループが入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上